

【小学生の部】



片岡花菜さん (大麻生小6年)

八月五日の朝日新聞を読んで感じたこと

私はこの夏、オリンピックでたくさん試合を見た。特に心に残ったのは、バレーボール男子のイタリアとの試合や、卓球女子の中国との試合だ。なぜなら、バレーボール男子のイタリアとの試合は、あと二点で勝つという場面がたまたまあったからで、卓球女子の中国との試合は、あと二点で勝つという場面がたまたまあったからで、追いついていく場面がたまたまあったからで、この新聞記事では、柔道の混合団体で日本が銀メダルをとったことが書いてあった。前回大会優勝のフランスを相手に代表戦までつれ、三、四で敗れた。三、一と金メダルまであと二勝、男子七十三キロ級で登場したのは、男子六十六キロ級を連覇した阿部三三三だ。だが、延長4分52秒、一本負け。私も、強い選手になつた。公式戦では、五年ぶりの敗戦だったことを知り、五年間負けがなかったこととおどろいた。決勝は代表戦まで決まらず、男子百キロ級超五位の斉藤選手は、テディ・リネ選手と二回目の試合をした。一回負けした相手だから、勝つてか不安になつた。結果、負けました。勝つてか不安になつた。結果、負けました。勝つてか不安になつた。結果、負けました。

七月二十七日の埼玉新聞を読んで



長島大地さん (太田小6年)

この記事を読んで違和感を覚えました。どうして冬なのだろうか。こんなに暑い季節なのに。能登半島は今どうなっているのだろうか。松本浩一さんは、全国の友達に能登半島の「く」を伝えてほしいと書いています。一月に起きた大きな地震。その時は毎日のようにニュースで情報が流れていました。これは最近放送された能登半島のニュースです。一月に起きた大きな地震。その時は毎日のようにニュースで情報が流れていました。これは最近放送された能登半島のニュースです。



野村宙楽さん (桜木小6年)

五月三十一日の読売新聞を読んで感じたこと 私の父は其の高校、母は女子校を卒業している。父は、小中学校が共学だったため、特に深く考えずに高校を決めた。一方、母は、将来の目標を実現させるためには、大学に進学する必要があるため、同じ学力レベルの活用の方だと思えます。



山村友香さん (新堀小6年)

八月二十九日の読売新聞を読んで感じたこと フランスの学校について書かれているのになりまよった。



阿部実咲さん (荒川中2年)

八月六日の読売新聞を読んで感じたこと 私はこの記事を読んで、改めて戦争と恐怖を感じた。



樽見夢奈さん (熊谷東中3年)

七月七日の読売新聞を読んで感じたこと 『平和への願い』

八月六日の読売新聞を読んで感じたこと 私はこの記事を読んで、改めて戦争と恐怖を感じた。



杉内友梨さん (荒川中2年)

八月五日の読売新聞を読んで感じたこと 『五輪と戦争』

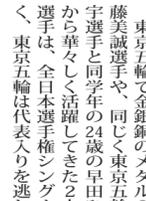


原口由梨果さん (熊谷西小6年)

7月30日と8月6日の読売新聞を読んで感じたこと

世界には、学ぶための環境が整っていない、家庭の都合で通えない、戦争や紛争で学校に行けない子どももいる。日本には、比較的学校の通いやすさがある。

この日本の教育を誇りに思い、最後の小学校生活を思い出してみたいと思います。調べてみると、フランスだけではなく、さまざまな国でも教育を受けることが難しい子ども達がたくさんいることがわかりました。



新井美結さん (富士見中2年)

八月四日の読売新聞を読んで感じたこと 『パリ2024が教えたこと』

私も卓球部に入っています。今までの私は全く努力していませんでした。努力していませんでした。努力していませんでした。努力していませんでした。

この言葉を私に刻み、卓球部の練習や試合から逃げ出すな、諦めず頑張ってください。そして、私も、早田ひな選手のような強い人になりたい。

優秀賞

【中学生の部】

七月三十日の読売新聞を読んで感じたこと 『デジタル時代における言葉の力』

この社説を読んで、私は将来について考えるようになりました。社会に出てからも、文章を読み解く力、自分の考えを伝える力は必要不可欠です。そのためには、今から読書習慣を身につけておくことが大切だと感じました。

私がこの記事を見つけたのは、たまたまだった。七つのお祭りは戦つていくと新聞をめぐったその時、わたつみのこの見出しと、何かを強く見つける浅見の肖像に惹かれた。いつもなら読む事はなかったかもしれない。ただ、読んでほしいという目ざかりかけた気がした。

八月六日の読売新聞を読んで感じたこと 私はこの記事を読んで、改めて戦争と恐怖を感じた。この社説を読んで、改めて戦争と恐怖を感じた。この社説を読んで、改めて戦争と恐怖を感じた。

八月五日の読売新聞を読んで感じたこと 『五輪と戦争』

世界には、学ぶための環境が整っていない、家庭の都合で通えない、戦争や紛争で学校に行けない子どももいる。日本には、比較的学校の通いやすさがある。

八月四日の読売新聞を読んで感じたこと 『パリ2024が教えたこと』

私も卓球部に入っています。今までの私は全く努力していませんでした。努力していませんでした。努力していませんでした。努力していませんでした。

この言葉を私に刻み、卓球部の練習や試合から逃げ出すな、諦めず頑張ってください。そして、私も、早田ひな選手のような強い人になりたい。

【小学生の部】

【中学生の部】

入賞

- 須長篤紀さん(青見小6年)
竹内咲斗さん(長井小5年)
清水実奈さん(熊谷南小6年)
須長篤紀さん(青見小6年)
廣瀬希々花さん(玉井小5年)
片岡琴葉さん(三原小6年)
清宮彩楓さん(久下小5年)
高田侑愛さん(佐谷小5年)
増田瑛太さん(大塚中3年)
西田衣織さん(石原小6年)
佐藤小雪さん(三原中2年)
原口奈菜さん(奈良小5年)
叶内結彩さん(別府中1年)
明智洗乃乃さん(中条小5年)
稲垣空真さん(大塚中3年)
廣瀬希々花さん(玉井小5年)
藤原朱莉さん(別府中2年)
高木菜帆さん(大塚中2年)
植田芽生さん(大塚中2年)
平川依知花さん(別府中3年)
青木丞晟さん(富士見中3年)
増田瑛太さん(大塚中3年)

※掲載した作品は原文を極力尊重しました